

証券コード6859

エスペック株式会社

2023年度(2024年3月期)
第2四半期決算説明

2023年11月22日

代表取締役 執行役員社長 荒田 知

2023年度第2四半期 決算概要

受注高は、特にEV・バッテリー向けがけん引
部材確保・生産対応強化により大幅に増収増益、過去最高を更新
第2四半期および通期の業績予想を上方修正

前年同期比

期初予想比

■ 受注高	○ 装置事業は高水準維持、サービス事業(主に受託試験)が増加	○ 装置事業(環境試験器、エネルギーデバイス装置)、サービス事業が上回る
■ 売上高	○ すべての事業が増加、特に装置事業が大幅増	○ 装置事業、サービス事業が上回る
■ 営業利益	○ 販管費は増加したが増収により大幅増	○ 売上高の上振れ、環境試験器・受託試験の原価率改善により上回る
■ 経常利益 親会社株主に帰属する四半期純利益	○ 営業利益の増加により大幅増	○ 営業利益の増加により上回る

■ 配当は期初予想より修正なし(中間25円、期末45円、年間70円)

損益の状況

(百万円)

	2022年度 2Q累計実績	2023年度 2Q累計期初予想	2023年度 2Q累計実績	前年同期比	期初予想比
受注高	33,266	26,500	33,440	+0.5%	+26.2%
売上高	22,945	26,000	27,257	+18.8%	+4.8%
売上原価 原価率	15,150 66.0%	17,250 66.3%	17,771 65.2%	+17.3% 0.8pt改善	+3.0% 1.1pt改善
売上総利益	7,794	8,750	9,485	+21.7%	+8.4%
販管費	6,399	6,900	7,151	+11.8%	+3.6%
営業利益	1,395	1,850	2,333	+67.2%	+26.2%
経常利益	1,731	1,950	2,526	+45.9%	+29.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	984	1,300	1,653	+68.1%	+27.2%

セグメント別の損益の状況

(百万円)

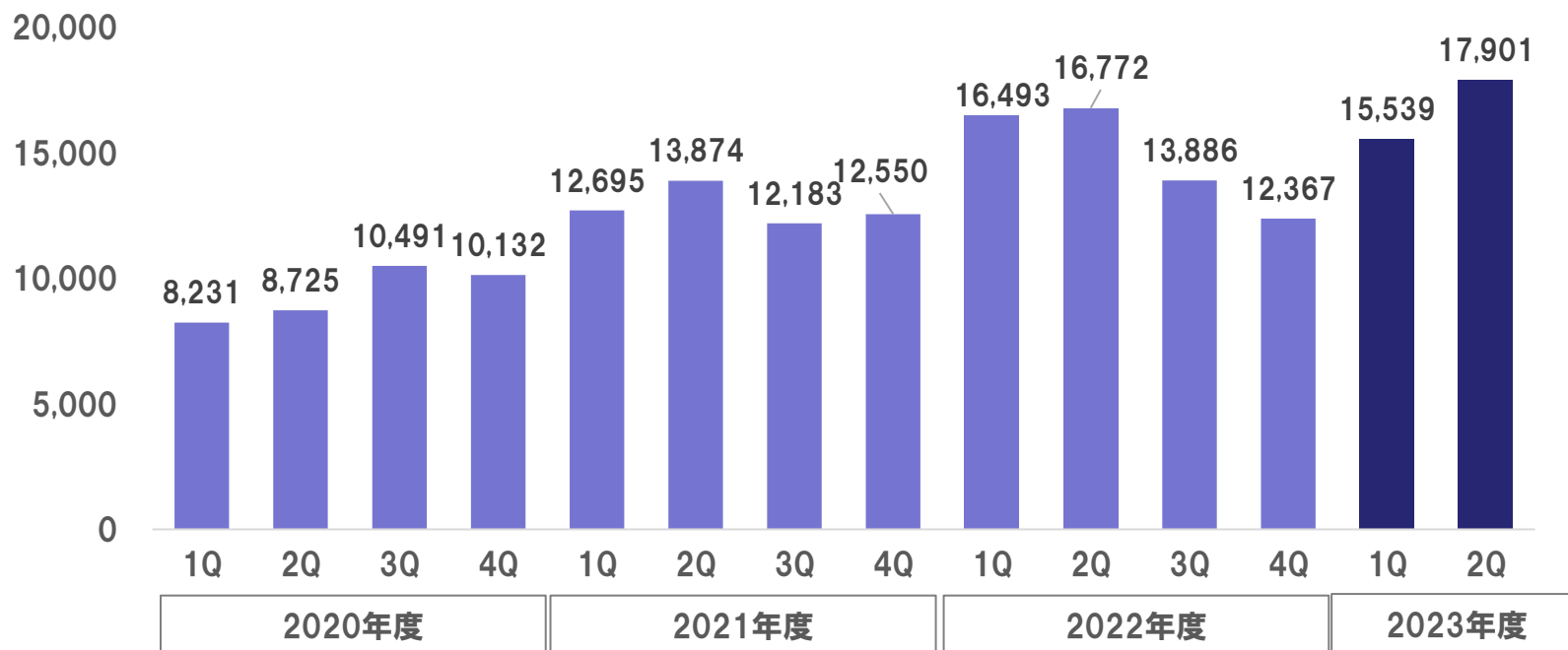
		2022年度 2Q累計実績	2023年度 2Q累計 期初予想	2023年度 2Q累計実績	前年同期比	期初予想比
装置事業	受注高	29,209	22,550	29,198	△0.0%	+29.5%
	売上高	19,650	22,450	23,533	+19.8%	+4.8%
	営業利益	1,403	1,870	2,175	+55.0%	+16.3%
サービス事業	受注高	3,470	3,350	3,785	+9.1%	+13.0%
	売上高	3,020	3,150	3,445	+14.1%	+9.4%
	営業利益	72	30	249	+244.7%	+730.4%
その他事業	受注高	747	750	655	△12.3%	△12.5%
	売上高	405	550	475	+17.5%	△13.5%
	営業利益	△80	△50	△88	-	-
連結消去	受注高	△161	△150	△199	-	-
	売上高	△130	△150	△197	-	-
	営業利益	△0	0	△2	-	-
計	受注高	33,266	26,500	33,440	+0.5%	+26.2%
	売上高	22,945	26,000	27,257	+18.8%	+4.8%
	営業利益	1,395	1,850	2,333	+67.2%	+26.2%

2023年度上期実績・受注高について

- 受注高は前年同期比で減少予想だったが、国内のEV・バッテリー向け投資がけん引(環境試験器・エネルギーデバイス装置・受託試験)
上期受注高は、3期連続で過去最高を更新

四半期ごとの受注高推移

(百万円)

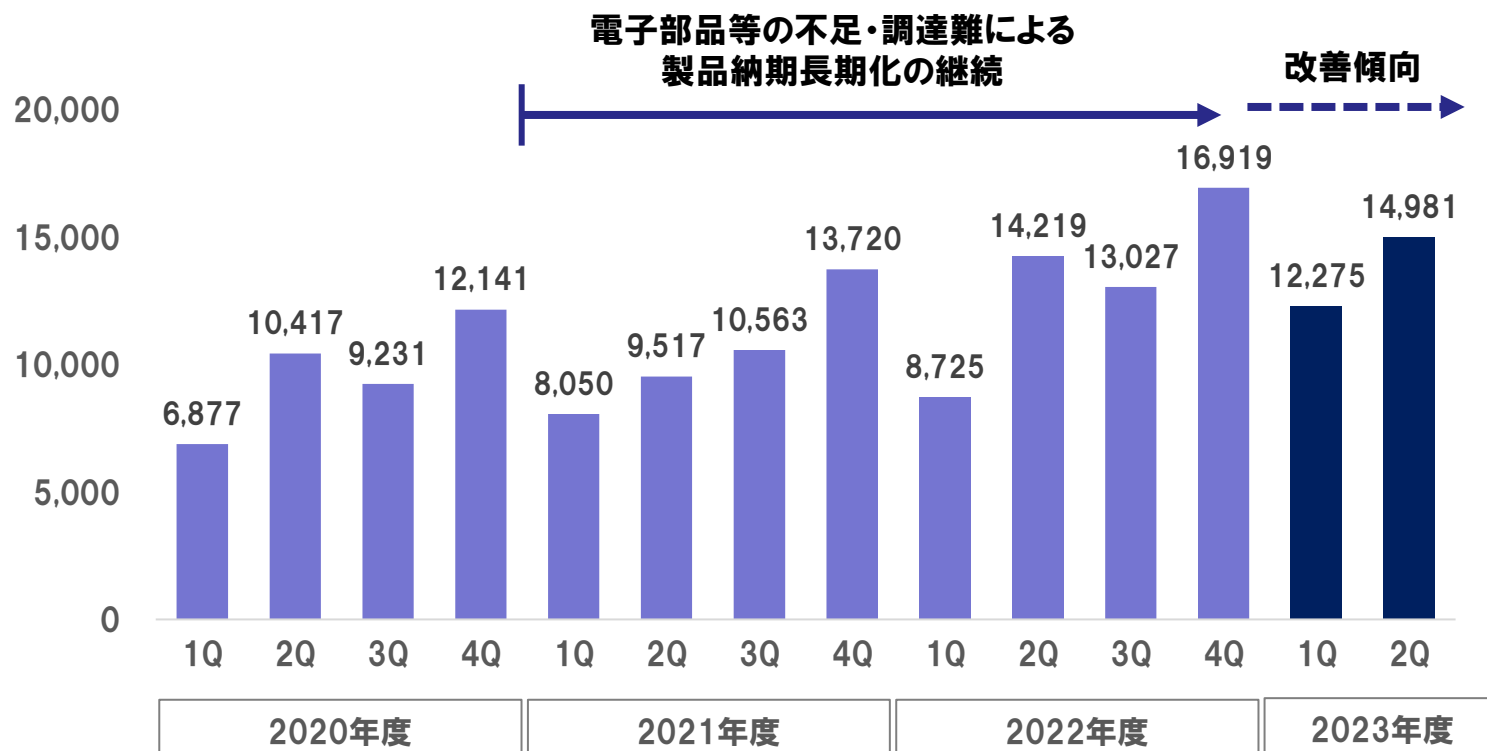


2023年度上期実績・売上高について

- 売上高は、部品の長納期は継続しているが部材確保・生産対応強化により2023年3月末受注残の消化、製品リードタイムの改善が進展
上期売上高は、2期連続で過去最高を更新

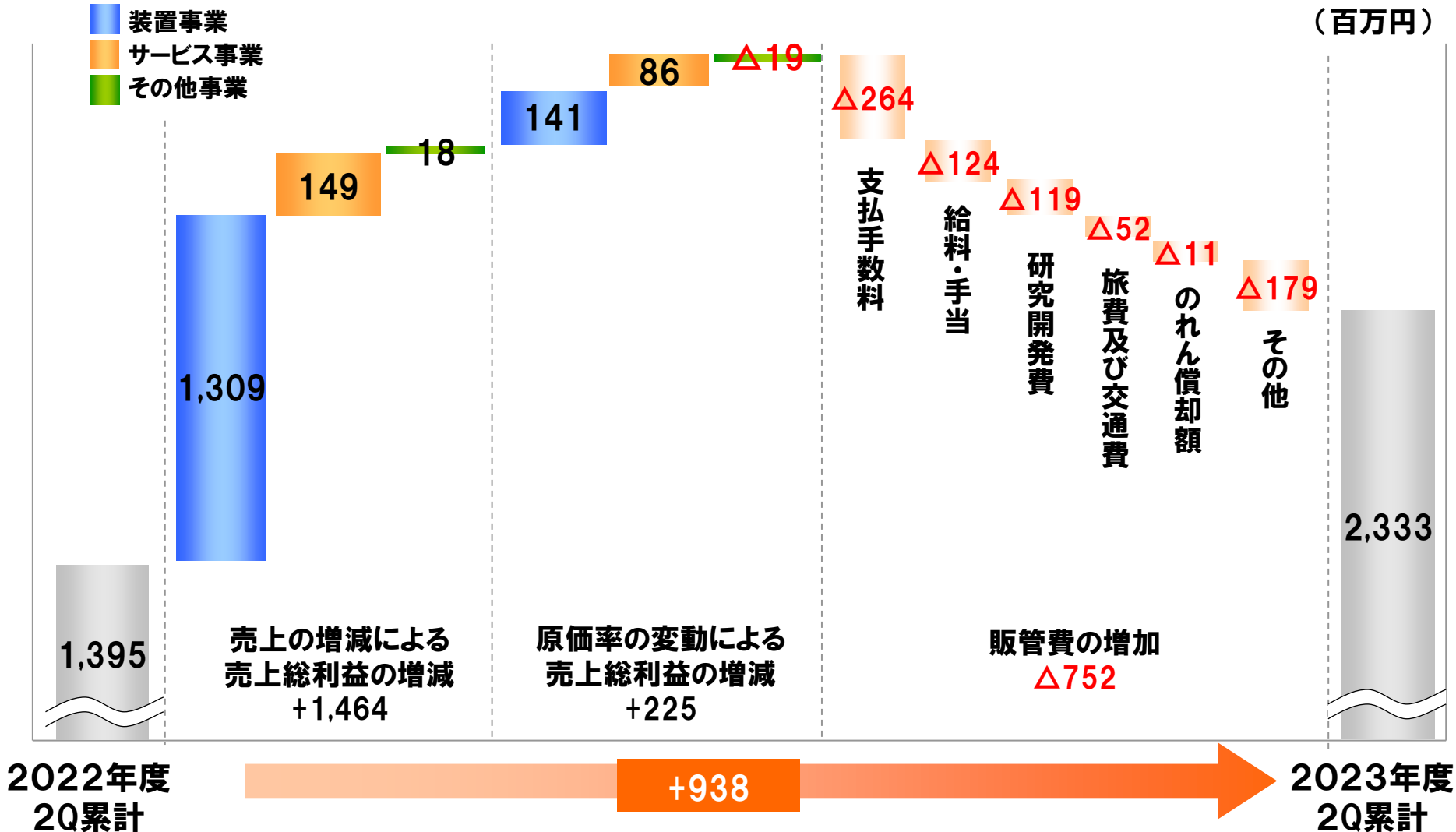
四半期ごとの売上高推移

(百万円)



上期営業利益の増減要因分析

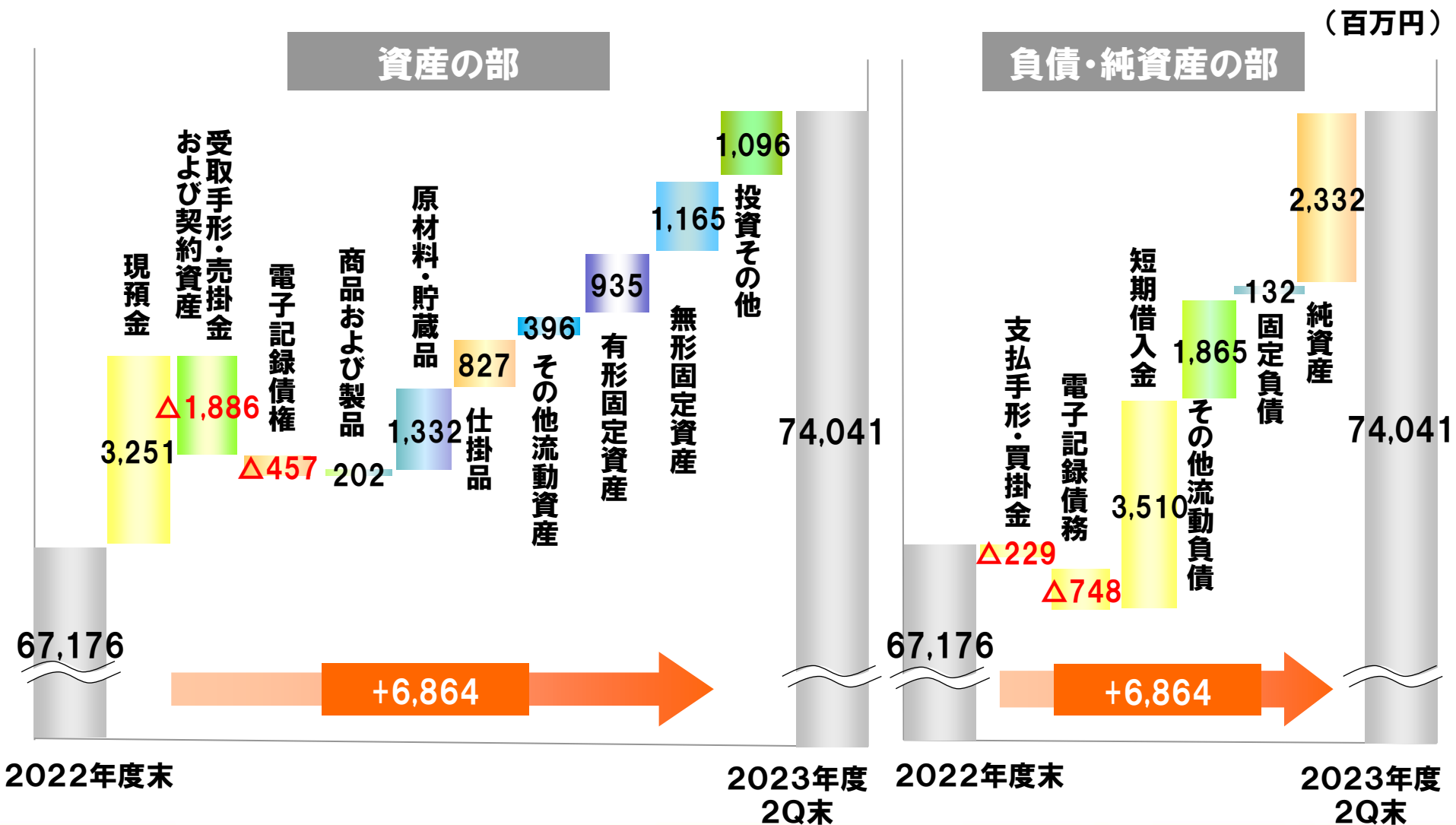
■ 販管費は増加したが、主に装置事業の増収効果により約9億円増加



※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

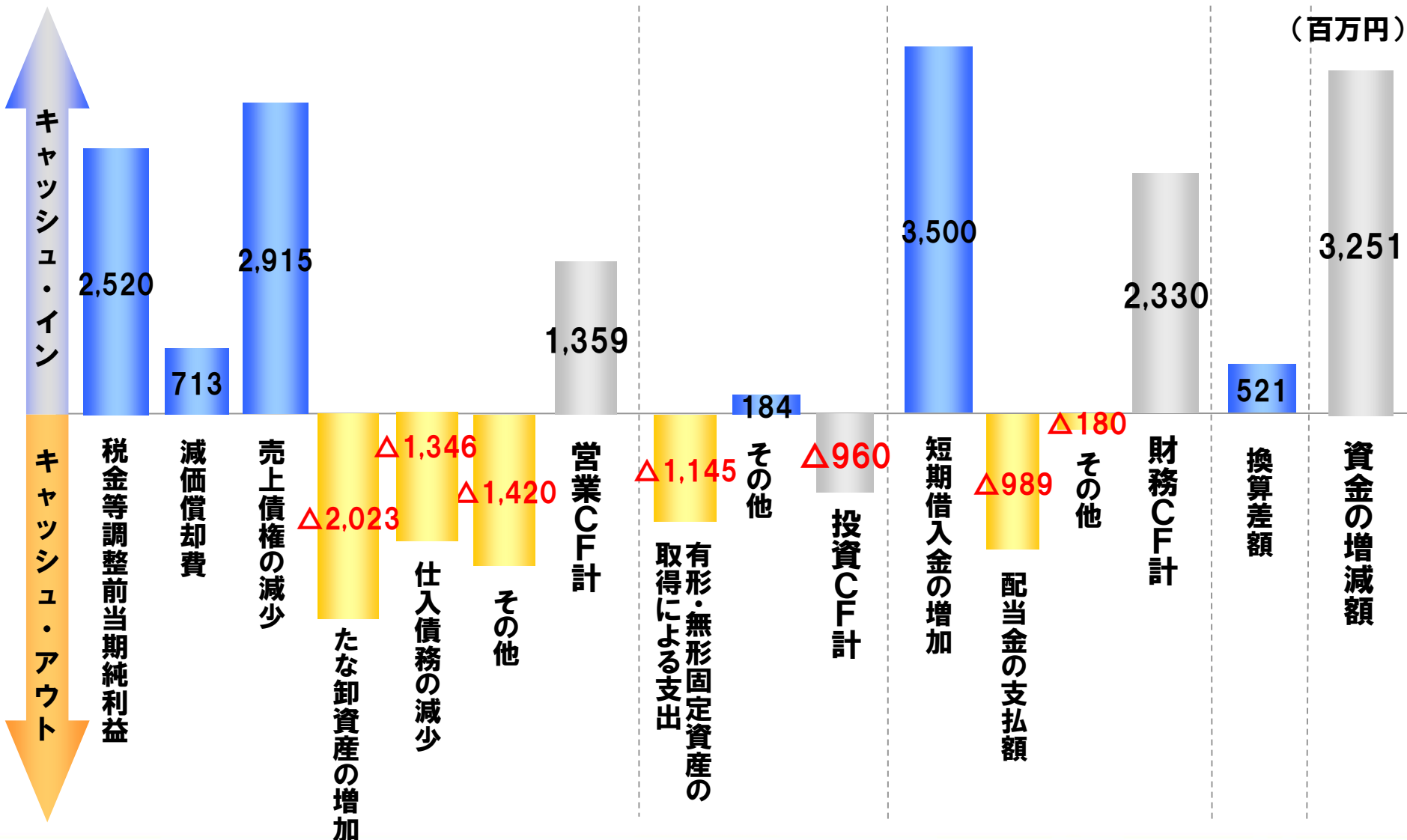
資産・負債の状況

■ 主に短期借入による現預金の増加、有形・無形固定資産の増加により、資産は約68億円増加



キャッシュフローの状況

■ 主に短期借入金により、資金は約32億円増加



装置事業セグメント

(百万円)

	2022年度 2Q累計実績	2023年度 2Q累計期初予想	2023年度 2Q累計実績	前年同期比	期初予想比
受注高	29,209	22,550	29,198	△0.0%	+29.5%
売上高	19,650	22,450	23,533	+19.8%	+4.8%
営業利益	1,403	1,870	2,175	+55.0%	+16.3%
利益率 (%)	7.1%	8.3%	9.2%		

環境試験器

- 国内では、受注高は前年同期比で汎用性の高い標準製品が減少したもののカスタム製品は自動車関連を中心に増加、売上高は標準製品・カスタム製品ともに増加
- 海外では、受注高は前年同期を下回ったものの売上高は増加
主に北米、欧州が増加、韓国、台湾も増加、中国は前年同期並み

エナジーデバイス装置

- 受注高・売上高ともに前年同期比で大幅に増加
電気自動車(EV)・二次電池向けの投資拡大により、主に国内で充放電試験用チャンバーが好調

半導体関連装置

- 主にメモリ関連の投資抑制の影響を受け、受注高は前年同期比で減少
売上高は前年同期並み

サービス事業セグメント

(百万円)

	2022年度 2Q累計実績	2023年度 2Q累計期初予想	2023年度 2Q累計実績	前年同期比	期初予想比
受注高	3,470	3,350	3,785	+9.1%	+13.0%
売上高	3,020	3,150	3,445	+14.1%	+9.4%
営業利益	72	30	249	+244.7%	+730.4%
利益率 (%)	2.4%	1.0%	7.2%		

アフターサービス・エンジニアリング

- 予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、受注高は前年同期並み、売上高は増加

受託試験・レンタル

- 車載用バッテリーを中心に受託試験が好調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加

その他事業セグメント

(百万円)

	2022年度 2Q累計実績	2023年度 2Q累計期初予想	2023年度 2Q累計実績	前年同期比	期初予想比
受注高	747	750	655	△12.3%	△12.5%
売上高	405	550	475	+17.5%	△13.5%
営業利益 利益率 (%)	△80 △19.8%	△50 △9.1%	△88 △18.6%	-	-

環境保全・植物育成装置

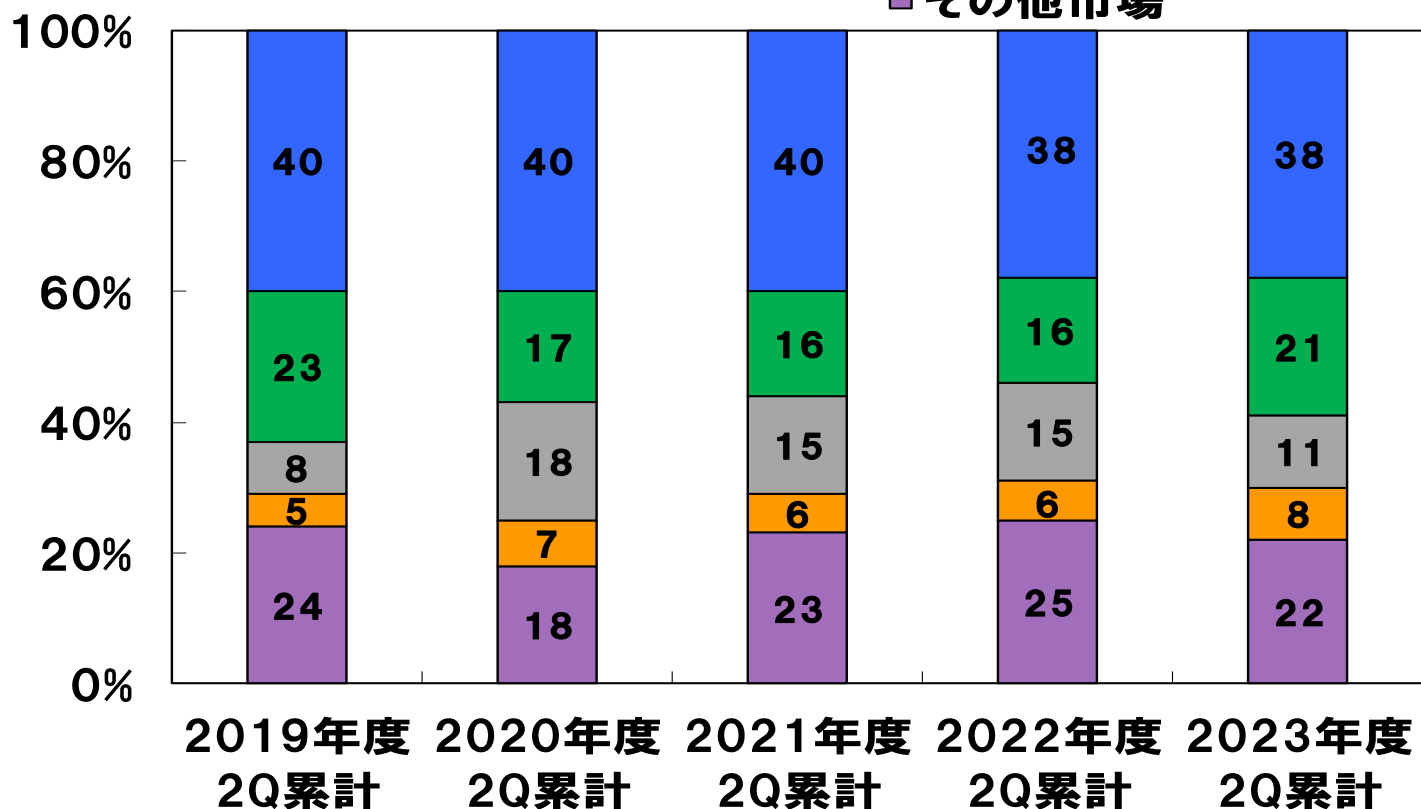
- 森づくりや植物研究用装置が低調となり、受注高は前年同期比で減少、新たに手掛けている植物の水耕栽培と陸上養殖を組み合わせたアクアポニックスの納入などにより売上高は増加

市場別売上構成比

■ 売上高は、電子部品・機器市場は1.2倍、自動車はEV・バッテリーを中心に大幅に増加し1.6倍、半導体市場は減少

単体(装置事業)

- 電子部品・電子機器市場
- 自動車市場
- 半導体市場
- 研究機関
- その他市場

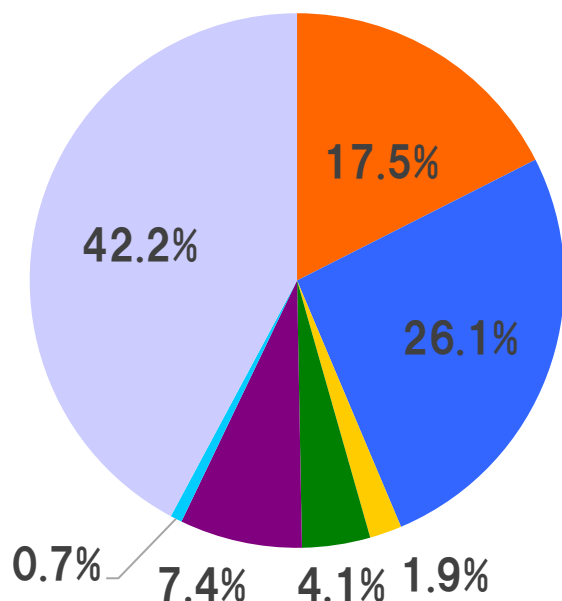


地域別売上構成比

■ 売上高は主に日本、北米、欧州が増加、中国は前年同期並み

2022年度2Q累計

海外売上高比率:57.8%

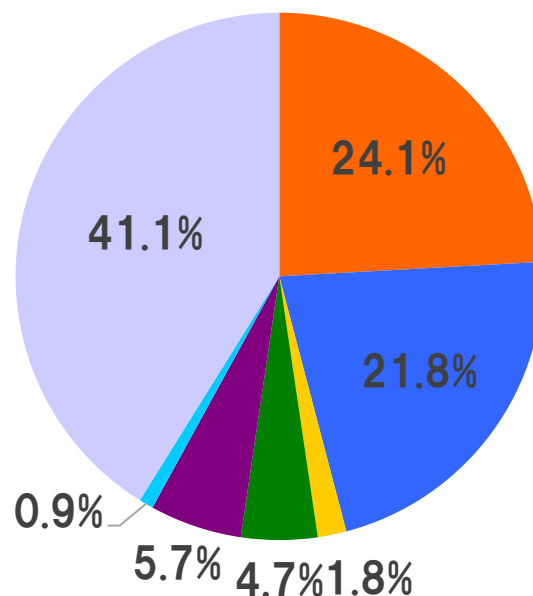


計 22,945百万円

(海外売上高:13,268百万円)

2023年度2Q累計

海外売上高比率:58.9%



計 27,257百万円

(海外売上高:16,045百万円)

2023年度 業績予想について

■ 通期業績予想のポイント

- ・受注は、上期の勢いは落ち着くと見るが高水準を維持すると認識
- ・カスタム製品の生産が下期に偏重見込み
- ・部材およびリソース確保に全力を挙げ、過去最高売上高・営業利益の更新を目指す

■ 想定為替レートの変更

	2021年度	2022年度		2023年度		
	通期実績	上期実績	通期実績	上期実績	通期期初想定	通期修正
USD(円)	112.40	134.04	135.51	141.06	130	145

2023年度為替感応度(対ドル1円円安):売上高185百万円増加、営業利益35百万円増加

■ 事業譲受

日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社の環境試験装置の製造、販売を連結子会社コスモピアハイテック株式会社が譲受

譲受価額:1,800百万円

譲受日 :2023年9月30日

2023年度 通期業績予想

(百万円)

	2022年度	2023年度	2023年度			
	通期実績	通期期初予想	上期実績	業績予想(10/27修正)		
				下期	通期	前期比
受注高	59,521	54,000	33,440	27,559	61,000	+2.5%
売上高	52,892	56,000	27,257	31,243	58,500	+10.6%
売上総利益	17,957	19,000	9,485	11,015	20,500	+14.2%
利益率(%)	34.0%	33.9%	34.8%	35.3%	35.0%	+1.0pt
販管費	13,590	14,000	7,151	7,848	15,000	+10.4%
販管费率(%)	25.7%	25.0%	26.2%	25.1%	25.6%	△0.1pt
営業利益	4,366	5,000	2,333	3,166	5,500	+26.0%
利益率(%)	8.3%	8.9%	8.6%	10.1%	9.4%	+1.1pt
経常利益	4,664	5,100	2,526	3,224	5,750	+23.3%
利益率(%)	8.8%	9.1%	9.3%	10.3%	9.8%	+1.0pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,330	3,650	1,653	2,346	4,000	+20.1%
利益率(%)	6.3%	6.5%	6.1%	7.5%	6.8%	+0.5pt
1株当たり当期純利益(円)	150.34	167.18	75.76	107.45	183.21	+21.9%

※ROE(自己資本利益率) 2023年度目標 7.5%→8.1%に修正(前期比+0.9pt)

2023年度 投資計画

(百万円)

	2022年度	2023年度	2023年度			
	通期 実績	通期 期初予想	上期 実績	業績予想(期初から修正なし)		
				下期	通期	前期比
設備投資額	1,311	3,100	1,300	1,800	3,100	+136.5%
減価償却費	1,328	1,480	715	765	1,480	+11.4%
研究開発費	1,041	1,490	619	871	1,490	+43.1%

環境認識

■ 受注は上期の勢いは落ち着くが、日本を中心にEV・バッテリーなど先端技術分野の需要は継続

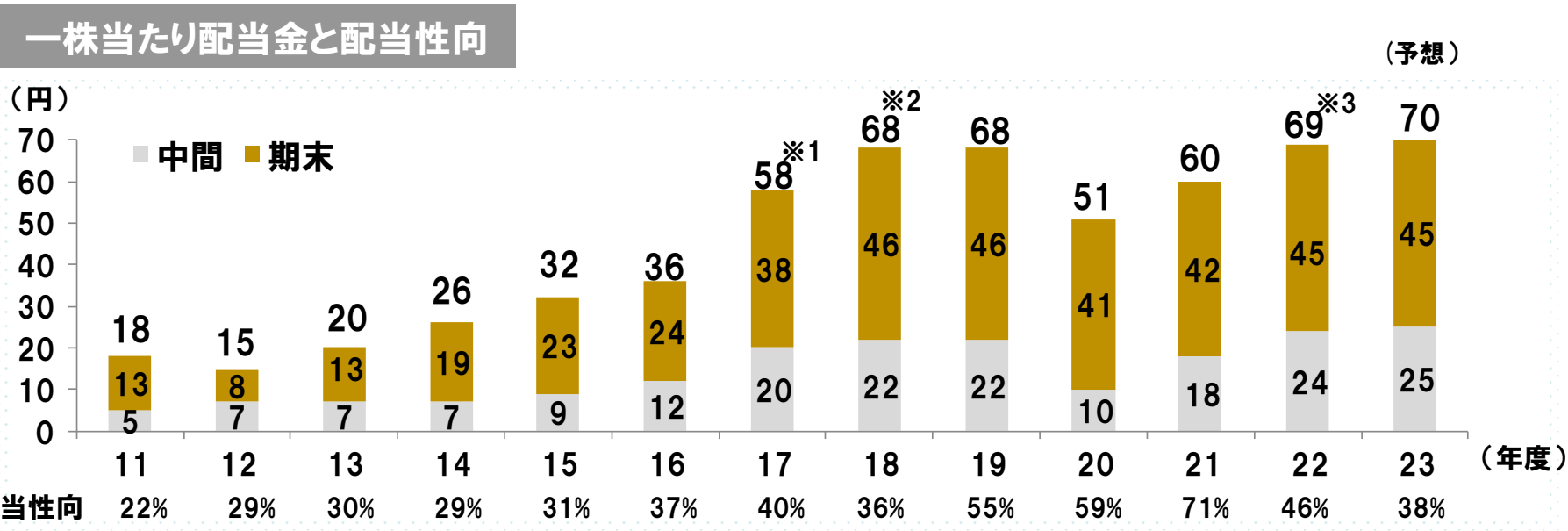
装置事業	環境試験器	<p>日本 :EV・バッテリーの投資が好調を維持、IoT関連の投資は一服感があるが堅調に推移</p> <p>中国 :EV・バッテリーの投資は堅調だが、半導体関連は減少 下期は上期並みの受注を予想</p> <p>ASEAN :EV・バッテリー、半導体関連が堅調</p> <p>北米 :航空機、自動車関連が堅調だが、景気減速を懸念</p> <p>欧州 :景気減速により投資抑制傾向が継続</p>
	エネルギーデバイス装置	国内を中心に充放電試験用チャンバーが好調
	半導体関連装置	メモリ関連の投資抑制により前期を下回る見込み
サービス事業	アフター・エンジ 受託試験・レンタル	<p>アフター・エンジ :前期と同水準になると予想</p> <p>受託試験 :車載用バッテリーの試験需要が拡大</p>
その他事業	環境保全 植物育成装置	大型案件が少なく前期を下回る見込み

セグメント別の業績予想

		2022年度	2023年度	2023年度 (百万円)			
		通期実績	通期期初予想	上期実績	業績予想(10/27修正)		
					下期	通期	前期比
装置事業	受注高	51,446	45,500	29,198	23,561	52,760	+2.6%
	売上高	45,031	47,700	23,533	26,817	50,350	+11.8%
	営業利益	3,919	4,670	2,175	2,804	4,980	+27.0%
サービス事業	受注高	6,963	7,000	3,785	3,554	7,340	+5.4%
	売上高	6,788	6,900	3,445	3,805	7,250	+6.8%
	営業利益	428	300	249	301	550	+28.5%
その他事業	受注高	1,469	1,800	655	644	1,300	△11.6%
	売上高	1,404	1,700	475	824	1,300	△7.4%
	営業利益	16	30	△88	58	△30	-
連結消去	受注高	△359	△300	△199	△200	△400	-
	売上高	△330	△300	△197	△202	△400	-
	営業利益	1	0	△2	2	△0	-
計	受注高	59,521	54,000	33,440	27,559	61,000	+2.5%
	売上高	52,892	56,000	27,257	31,243	58,500	+10.6%
	営業利益	4,366	5,000	2,333	3,166	5,500	+26.0%

2023年度 配当予想

■ 2023年度配当予想は変更なし、配当性向は38.2%となる見込み



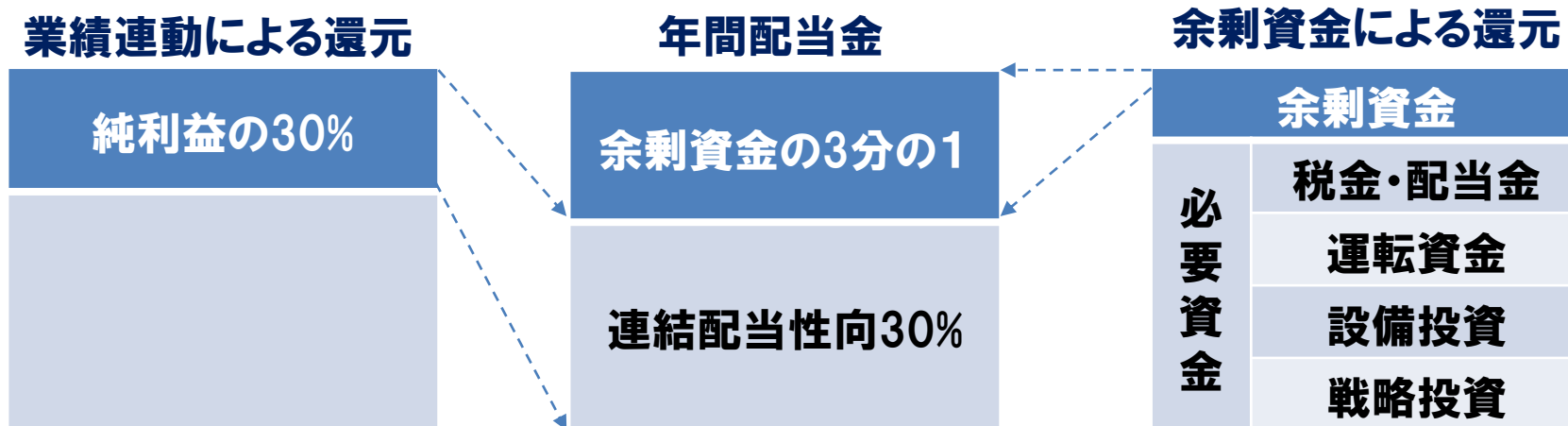
※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む
 ※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)
 ※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

配当基本方針

継続性と連結配当性向を勘案して決定することを基本とする

配当性向30%に加え、予定必要資金の超過金額の1/3を目途に上乗せする

また、必要な内部留保の水準を考慮しつつ、自己株式取得を機動的に実施する



※安定配当として年20円の配当金を利益水準に関わらず維持するが、2期連続で最終赤字の場合は見直しを行う

2023年度 主な取り組み

装置事業

- ・収益力の向上、製品納期正常化および受注残高の早期解消
- ・グローバルに拡大するバッテリー市場への対応強化

サービス事業

アフターサービス:「スーパーサポートプラン」による予防保全サービスの拡大
受託試験 :自動車を中心とする先端技術分野向け試験サービスの拡充

エリア戦略

日本:EV・自動化、IoT分野のニーズに適合した製品投入による販売拡大、買替需要の喚起
北米:インフレ抑制法(IRA)による自動車市場の需要拡大への対応
中国:グループ連携によるEV、IoT市場への販売拡大
欧州:製品ラインアップ拡充による自動車およびIoT市場の開拓
韓国:グローバル大企業への販売拡大

2023年度 ESGの主な取り組み

■E(環境)

- ・第8次環境中期計画(2022～2025年度)の推進
- ・地球温暖化対策:低GWP冷媒への置き換え
製造など事業活動におけるCO₂排出量削減
- ・生物多様性保全活動:エスペックミックスの事業による貢献
「エスペック50年の森」運営による保全活動の推進
- ・2030年度温室効果ガス排出量削減目標SBT認定(2023年7月取得)

■S(社会)

- ・人的資本の強化:管理職のマネジメント力強化、人事評価制度・教育制度、
1on1の実施、次世代幹部育成
- ・ダイバーシティの推進:女性管理職の育成、シニア社員・外国人の活躍推進

■G(ガバナンス)

- ・グループガバナンスの強化および内部統制システムの整備・強化

バッテリー安全認証センター 受託試験設備を拡充

- 2023年10月、バッテリーの充放電試験ニーズに対応するため、充放電試験用設備を拡充
- EV向け受託試験サービス強化を目指し、2024年にかけてさらなる増強を予定



バッテリー安全認証センター
(宇都宮テクノコンプレックス内)

半導体検査装置 高発熱負荷対応 「バーンインチャンバー」拡充

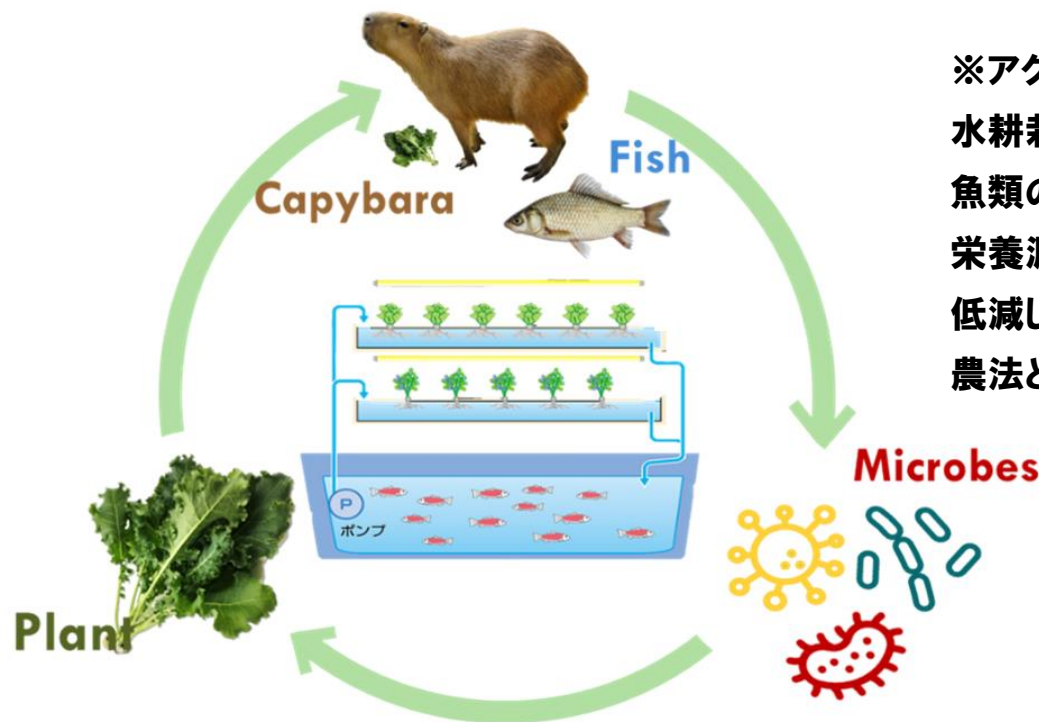
- 2023年3月、 -20°C ～ $+150^{\circ}\text{C}$ において許容発熱量を4倍(当社従来装置比)に拡大したバーンインチャンバーを拡充
- 半導体が高発熱状態でも精密に温度制御可能
- 検査量を大幅に増加、検査時間短縮に貢献



高発熱負荷対応「バーンインチャンバー」

エスペックミック 川崎水族館（カワスイ）にて アクアポニックスを活用した共同研究を開始

2023年6月、エスペックミックが川崎水族館(カワスイ)、日本大学生物資源科学部 熱帯資源作物研究室と、アクアポニックスを活用した物質循環システムの実証実験に関する共同研究を開始



※アクアポニックスとは

水耕栽培と陸上養殖を掛け合わせたシステム。
魚類の糞尿を微生物分解させ、野菜生育に必要な
栄養源として活用。化学肥料を使用しない、または
低減した野菜生産が可能。近年、環境に配慮した
農法として注目が高まっている。

「アクアポニックスを活用した物質循環システム」イメージ図

社外からの評価

■2023年

- 11月・日本経済新聞社「第5回日経SDGs経営調査」3.5つ星
 - ・日本経済新聞社「第7回日経スマートワーク経営調査」3つ星
- 10月・日刊工業新聞社（経産省後援）「第19回企業力ランキング」157位
- 8月・ブロードバンドセキュリティ「Gomez ESGサイトランキング2023」
2年連続優秀企業に選定
- 6月・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ
「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に初選定
- 3月・CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」
最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に初選定
- 2月・東洋経済新報社「2023年版CSR企業ランキング」372位

■2022年

- 12月・CDP気候変動レポート2022において3年連続「Bスコア」
 - ・日興アイ・アール「2022年度全上場企業ホームページ充実度
ランキング」2年連続最優秀サイト
 - ・ブロードバンドセキュリティ「Gomez IRサイトランキング2022」
銅賞（業種別24位）

■ESG指数組入れ

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（2022年4月初選定）



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。**

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

**サステナビリティ推進部 部長 中川
IR・広報グループ 大川・貝川**

Quality is more than a word

ESPEC